

「北辰会声の便り」ボイサー 28期 竹本久子さんからの報告の一部分

エピソード

S様：高校1年の時の恩師から今年も年賀状が届いた。東京に来られた時には電話が掛かって来て何度も食事をご馳走になった。と聞きました。

S様は82歳だから恩師は相当のお歳だと思のですが長生きされている事と、卒業してから63年も経っているのに教え子に年賀状を送って下さる優しいお気持ちに感動しました。

A様：毎日地域のサークルで卓球や、カラオケをして楽しんでいます。二ヶ月に一度、兄と一緒に食事をしています。(お兄さまが私の自宅の近くに住んでいらっしゃるのと事で美味しいレストランを紹介していただきました。)

B様：まだ、現役で運送業を営んでいます。地域や自治会の役を続けている。

C様：パソコンで「点字」に点訳するサークルに入っている。でも「肺気腫」を煩っているので無理は出来ない。

D様：末期高齢者ですが、変わりなく毎日楽しく遊んで暮らしています。

E様：ご本人はお留守で息子さんから「元気すぎて困っています。スマホを持っているので『北辰会のHP』見るように話します」

F様：元気でよくゴルフをしています。また、日本語学級で外国人に日本語を教えるサークルに入って頑張っています。

G様：もう、年だから来年からは総会には参加できない。

H様：25分間ほどお話をされました。

- ・尼崎(塚口)の会社の寮に住んでいて、消灯時間が10時だったので、いつも授業が終わったら9時10分の電車に間に合う様に小走りで十三駅まで行ったこと。
- ・学校に入学する為に高1の担任だった かばしま先生 に保証人になって貰ったこと。
- ・高1から高4の担任の先生のお名前も全部覚えておられて学生時代の事を色々話された。
- ・今でも恩師から年賀状が届く。同期の方のお話をさせて頂くと同じクラスには成ら無かったが良く知っていますと話された。
- ・他にも記念植樹のお話などされたので、今のお話を「北辰会報」に載せたいので是非投稿してくださいとお願いしましたが、文章を書くのが苦手なので「あなたが代わりに書いて下さい」と言われました。「あなたにも会いたいし、また必ず電話して下さい」とも。



電話して頂きました
28期 竹本久子事務局員

お電話が繋がって直ぐに次のようなメッセージが流れた方が2件ありました
「この電話は迷惑電話防止の為、内容を録音させていただきますのでご了承下さい」
今、「オレオレ詐欺が多発しているのできちんと対策されているのですね。」
素晴らしいです。

今回、先輩方にお電話させて頂いて、昔の北野高校の定時制は難しくてなかなか入れなかった等のお話をお聞きすると、素晴らしい先輩が沢山いらっしゃる事が理解出来ました。
また、先輩方の為にも、改めて北辰会を出来るだけ長く守って行かなければとの思いでいっぱいになりました。

素晴らしい経験をさせて頂けた事に心から感謝致します。
有り難うございました。

事務局より

「北辰会声の便り」メッセンジャー竹本久子さんからエピソードの報告届きました。
「北辰会声の便り」と北辰会が果たしている役割が述べられていると思いました。
「北辰会声の便り」は北辰会会員皆様を結ぶ大きな絆の一つと思いました。